黄金山ヒルズ公園マップ

⑳ 御嶽神社
(千厩町小梨字西ノ前)

天文2年（1533年）葛西家臣・薄衣河が、大和国・金峰山より村の鎮守神として、蔵王権現を勧請したことに始まると伝えられます。明治以降、神原家が別当、神職を受け継いできましたが、現在は無人になっています。

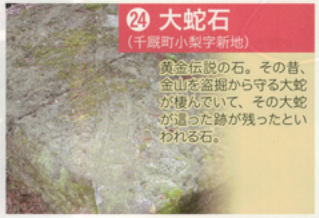
㉓ 一杯清水
(千厩町小梨字新地)

金売り吉次が清水を飲んだ際、お礼にしたという伝説がある湧水です。すぐ脇には大蛇が盗賊から金山をすったという伝説のある大蛇石があります。

㉑ 神中の桂
(千厩町小梨字天神)

天神山のふもとに推定樹齢350年の桂の巨木があります。高さは約20m、根元周は約9.7mあり眼を見張る巨木です。昭和39年に旧千厩町の天然記念物に指定され、現在は一関市の天然記念物に指定されています。

㉔ 大蛇石
(千厩町小梨字新地)

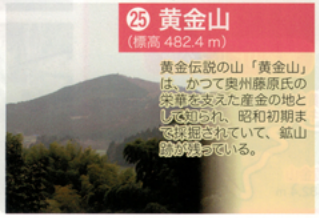


黄金伝説の石。その昔、金山を盗掘から守る大蛇が棲んでいて、その大蛇が這った跡が残ったといわれる石。

㉒ 天神山
(標高323m)

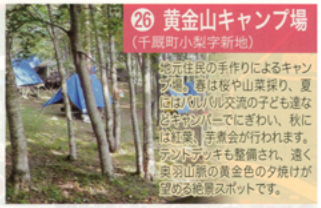
昔、南小梨城主の篠崎氏が藤沢の岩渕氏との戦のためにこの山に陣地を築いたことから、天神山と呼ばれていましたが、後に天神山になったといわれています。その陣地に水を引くために、黄金山の一杯清水から小梨と徳田の境界を引いてきたという言い伝えがあります。

㉕ 黄金山
(標高482.4m)



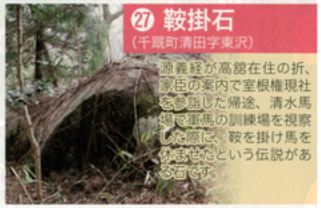
黄金伝説の山「黄金山」は、かつて奥州藤原氏の栄華を支えた産金の地として知られ、昭和初期まで採掘されていて、鉱山跡が残っている。

㉖ 黄金山キャンプ場
(千厩町小梨字新地)



地元住民の手作りによるキャンプ場。春は桜や山菜採り、夏にはバルバル交流の子ども達とキャンパーでにぎわい、秋には紅葉、芋煮会が行われます。テントアウトも整備され、遠く奥羽山脈の黄金色の夕焼けが望める絶景スポットです。

㉗ 鞍掛石
(千厩町清田字東沢)



源義経が高舘在住の折、家臣の案内で室根権現社を参詣した帰途、清水馬場で軍馬の訓練場を視察した際に、鞍を掛け馬を休ませたという伝説がある石です。

㉘ 清水馬場城跡
(千厩町清田字東沢)

千葉相模氏（葛西氏家臣）の居城跡で、東西に約100m、南北約180mで、高さは約30m。本丸、二の丸、三の丸があったと推定されています。

㉙ 林崎の六地蔵
(千厩町清田字林崎)

地区内に6ヶ所確認されているうちのひとつ。いつ造立されたのかは不明である。昭和初期には麻疹（はしか）の病気平癒のために遠くからもお参りに来た。

㉚ 清水馬場地名発祥の地
(千厩町清田字林崎)

昔、馬場がここにあったことから、清水馬場という地名がついたという言い伝えがあります。現在は造成工事がされ、牧草地になっています。

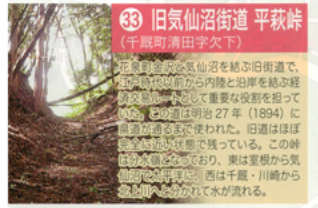
㉛ 熊野神社
(千厩町清田字内野)

文文2年（1533）に開祖。熊野村の鎮守。由緒は、岩手県神社名鑑によると、延暦14年（795）坂上田村麻呂が祈誓勧請し熊野権現と称した。康平5年（1062）源頼家が当社に祈り、阿部貞任、宗任を討ったと伝えられている。本殿は、方形造で2.25坪、幣殿は1.5坪、拝殿4坪あり。

㉜ 小梨駅
(千厩町清田字田畑)

昭和3年（1928）9月1日開業。当時は小梨村であったが、千厩町と合併した。開業当初は単線のホームで、駅舎は「森林資源の要や米などを積み込むため、貨車に積み込み線とホームがつくられた。その後駅舎は倉庫の倉庫が2棟つくられ、現在も「木炭の集積基地」や「燃料」という屋号の家が残っている。昭和30年代後半に、ホームが複線化され、現在の1ホームがつくられ列車のすれ違いが行われている。現在は廃止され単線ホームが残るだけである。平成18年（2006）現駅舎に改築。

㉝ 旧気仙沼街道 平萩峠
(千厩町清田字欠下)



江戸時代に気仙沼を結ぶ旧街道で、江戸時代は藩から内陸と沿岸を結ぶ経済の要として重要な役割を担っていた。この道は明治27年（1894）に鉄道が通るまで使われた。旧道はほぼ当時の形が残っている。この峠は標高が高くなっており、東は室根から気仙沼で太平洋に、西は千厩・川崎から北上川へとつながれて水が流れる。

㉞ ふれあい花壇
(千厩町清田字境)

平成14年度「第40回全国花いっぱいコンクール」最優秀地域の部で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞した日本一の花壇です。夏から秋にかけ、見事な花が咲きそろいます。

㉟ 京の森公園
(千厩町清田字京ノ森)

京の森山（標高252.7m）の頂上にあります。室根山の眺望がよく、道路が整備されて自家用車で登ることもできるので、身近な公園として親しまれています。

㊱ 金田城跡
(千厩町清田字融実)

千葉左近（葛西氏家臣）の居城跡です。高さ約35m、東西約250m、南北約80mあり、本丸、二の丸、三の丸で構成され、各郭内は緩傾斜に走る空壕で、脚下は深い水濠で余すことなく取り巻かれた城館です。

㊲ 金田神社
(千厩町清田字新地)

永世2年（1505）の勧請。大永2年（1522）字台に社殿を造営し、天明5年（1785）字新地に遷宮。当初は山神社としていたが、明治3年（1870）に金田神社と改称、同8年に金田村の村社となった。大山祇能命（おおやまずみのみこと）を祀る。

小梨地元学研究会

〒029-0802 一関市千厩町小梨字堂ヶ崎30-5（小梨市民センター内）

TEL 0191-52-2496　FAX 0191-52-2724

このパンフレットは、いちのせき元気地域づくり事業で作成しました。

一関市千厩町小梨・清田地区の名所 新・発・見!

こなしきよたマップ パート2

Konashi・Kiyota MAP

黄金山からの眺望（奥羽山脈）

たまご湯

黄金山キャンプ場

13区 ふれあい花壇

小梨地元学研究会

小梨・清田周辺マップ

旧気仙沼街道

至奥玉　至大東町　京の森山 252.7 m　至大東町　至気仙沼　至矢越　至川崎町　至藤沢町　至萩倉　至矢越釘子　至保呂羽　至津谷川

❶ 白幡神社
（千厩町小梨字小山）

治承元年（1177年）源義経勧請とされ、社殿では静御前所持の秘仏十一面大志象の金剛神に化身して白幡になり、天下太平・生民利益を与えるとの夢告により、義経の家臣幸嶋六郎通重保白堀山に太子像を安置したのが始まりという言い伝えがあります。

❷ 北小梨城跡
（千厩町小梨字舘前）

小梨右馬丞氏（葛西氏の家臣）の居城跡で、高さ約 50 m東西約 120 m、南北約 100 mの枡形要害。本丸とニの丸の北面は断崖となり、更にその下には深い空壕が切られ、本丸の西が内外二重の堀によって分断されています。

❸ 三宝荒神社
（千厩町小梨字猫沢）

昭和初期に、東山町の生出の火産霊神より分霊。仏・法・僧の三宝を守る神。不浄や災難を除去する神とされることから、火と竈の神として信仰されている。

❹ 巣沢七里塚
（千厩町小梨字巣沢）

一里塚の一種で、築造年代は不明であるが、慶長9年（1604）年徳川幕府の命により全国に整備された。元禄 11 年（1689）の東山絵図に記載されている。塚を築いて里程を明らかにし、並木を植え、小休止の場所ともされ、旅人の利便を図った。町内には7ヶ所あったが現存するのはここと千厩北ノ沢の岩間一里塚の２ヶ所だけである。

❺ 小梨上舘城跡
（千厩町小梨字堂ケ崎）

西城兵庫介胤光氏（葛西氏家臣）の居城跡。本丸は南北約 15 m、東西約 20 m、二の丸は南北約 16 m、東西約 60 m、出丸は東西約 20 m、南北約 20 m、馬場は南北約 12 m、東西約 100 mあったとされています。

❻ 小牛田山神社
（千厩町小梨字三ノ沢）

寛永 14 年（1637）に建立し山神と称していたが、その後火災のために寛永7年（1795）10月に社殿を再建し小牛田山神社と改称した。安産の神様として、出産の前にお手玉位の大きさの「お守り袋（枕）」を１つ造りていき、無事生まれたら御礼にとその枕を一つ自分で作りそろえにしてお返しをする風習がある。境内には、座って出産をした「腰掛石」や、生まれたあん坊を洗いあげた「にがご沢」などがある。

❼ 尖ノ森山神社
（千厩町小梨字尖ノ森）

起源は不明であるが、昭和 19 年頃、畑などの陥没が相次ぎ地下に金を採掘した際の洞窟がありそれが落盤したという。この金を採掘する際に安全を祈願したのが鎮座の起源ではといわれている。

❽ 大肝入菅原家藩主拝領門
（千厩町小梨字大登）

元和元年（1681）から、一関藩領のうち東山11ヶ村は、北小梨大登屋敷の菅原家が、11代に渡り約 147 年間大肝入（江戸時代の村役人）を勤めた。その時に一関藩主から拝領した門。大登には代官所や陣所も設けられた。東山 11ヶ村のうち、9ヶ村（寺沢村・上奥玉村・中奥玉村・下奥玉村・熊田追村・清水馬場村・金田村・北小梨村・南小梨村）は現在の千厩町内を含んでおり、町の約３分の２の面積にあたる。

❾ 梅屋跡
（千厩町小梨字大登）

小梨地区の豪農の屋敷跡。建物は解体され、今は梅の木としだれ桜の古木が残っています。また、立派な茶室がありましたが、大正 13 年に宮城県東和町の不老仙館に移築されています。

❿ 観音山
（標高 402 m）

葛西氏の家臣岩渕某が、葛西氏没落後ここに土着して尖ノ森屋敷の先祖となり、天正３年（1575 年）尖ノ森山に観音堂を建立して信仰したことから、観音山と名付けられたといわれています。その後、度々の野火によって堂は焼かれて今はありませんが、本尊は洞雲寺に移してあります。

⓫ たまご湯
（千厩町小梨字小林）

一地元自治会で作った浴場です。入浴後お肌はツルツルすべすべに。ゆで卵のような香りと肌に「たまご湯」の名がつきました。鉱泉を沸かした地域の素朴な浴場です。

⓬ 雨乞い石
（千厩町小梨字鶏沢）

大きさが縦 4.5m、幅 6 m、奥行き5 mほどの石で、日照りが続いた時に、この石の上で雨乞いの儀式を行った。昭和の中頃まで行っていた。

⓭ 金比羅神社
（千厩町小梨字浦ノ沢）

弘化３年（1847）10月10日の建立。こんぴらさんとして親しまれる四国善川県琴平町の「金刀比羅宮」を模して石段がある。海の神様・五穀豊穣・大漁祈願・商売繁盛の神として、祭典日には神楽や相撲大会などが催され郷土の名力士がいて昭和初期まで行われ賑った。

⓮ 常楽寺
（千厩町小梨字落合）

大原村亀峰山長泉寺、長徳和尚が天文2年（1533 年）に開山し、篠崎三河が菩提寺としたと伝えられています。本尊は「地蔵菩薩木仏座像」で、東山守護の任に当たった支倉与一常長が仙台の長松寺から所持したものと伝えられています。

⓯ 村上家住宅
（千厩町小梨字浦の沢）

県の有形文化財（建造物）に指定されている。江戸末期ご名に建てられたこの屋敷は、茅葺屋根やチョウナ削りの柱、土壁などは民家の建築史としても重要な文化財です。

⓰ 千厩みなみ交流センター
（千厩町小梨字落合）

昭和 62 年（1987 年）に廃校となった旧南小梨小学校を改修し、平成4年（1992 年）に宿泊交流施設としてオープン。全国から震災支援や各種団体の合宿などに利用されている。

⓱ 南小梨篠崎城跡
（千厩町小梨字落合）

篠崎三河氏（葛西氏の家臣）の居城跡で高さ 30 m東西約 50 m、南北約 200 mの広大な山城の形式で、本丸舘、二の丸、三の丸から成っている。

⓲ 不動ノ滝
（千厩町小梨字不動）

黄金山の麓に滝口神社があります。そのすぐ脇が渓谷になっていて、黄金山を源とする不動川の清流があり、不動ノ滝と呼ばれています。

⓳ 化石（ばけいし）
（千厩町小梨字中ノ沢）

南小梨舘の西方、藤沢に至る古道筋に仕置場といわれている場所があり、４つの塚があります。その墓石が埋没して頭部だけが表れており、土地の人はこれを「化石（ばけいし）」と呼んでいます。